

素敵に生きよう

suteki
life
vol.68

人権を考える市民の集い

あなたが住みたいまちづくり

見えないものを大切に

11月17日(月)、松原市文化会館において、第21回ひゅーまんフェスタ「人権を考える市民の集い」を開催しました。

第1部では、パラリンピック金メダリストで元中学校教諭の河合純一さん、またバルセロナオリンピック金メダリストの岩崎恭子さん、スポーツキャスターの青島健太さんから講演いただきました。

第2部では、第1部出演の3人にシドニーパラリンピック車椅子バスケットボール日本代表キャプテンの根木慎志さんをまじえ、誰もが「住んで良かった」「住んでみたい」安心・安全なまちづくりをテーマにパネルディスカッションを行いました。



※内容についての「意見・感想は、人権交流室(033-333-3101)へ。」

先天性の弱視だった河合さん。15歳で失明し、見えなくなつて気づいたこと・感じたことについて、また自分の二つの夢について、話していただきました。

私には、二つの夢がありました。中学校の教師になることと、水泳で金メダルをとることでした。

見えない私が夢を叶えられた訳には、二つのことが言えます。

「自分の夢を持ち続けること」と「お互いに支えられる仲間が必要であること」です。

夢・愛・信頼・友情といったものは見えないものです。見えないものは忘れてしまいがちですが、普段から大切にしていればきっと夢を叶えることができるのではないかと思います。

人との出会いを大切に

14歳で金メダルを獲得し経験したことや、子どもを持つ母親という立場から、青島さんと対談していただきました。

バルセロナオリンピックで金メダルを獲得しましたが、有名人となつたことで、ストーリーカー被害などの嫌な経験もしました。

次のオリンピックにむけたプレッシャーから、辛い思いや多くの苦勞をしましたが、その経験のおかげで自分自身が強くなり優しくなることができたと思います。

また、国内・国外でたくさんの方との出会いもあり、色々な人の考え方を受け入れることができるようになりました。

子どもにも、たくさんの人と出会い多くのことを学んでほしいと思います。

まちはみんなで

つくっていくもの

市内活動団体の協力のもと、まちをより良くするための目標を映像で伝え、参加者と共にまちづくりについて

考えました。出演者からの意見を一部紹介します。

市内のどの活動団体もみんなを支えたい・笑顔にしたいとの思いで活動をされていると思います。そして、一緒に活動している仲間がいることで辛いときも互いを支え合い、続けることができているということがよくわかりました。その点は、私たちアスリートと同じだと思います。

みなさん自身も一人ひとりがより良い人間関係を築き、お互いに支え合いながら暮らしていることを再認識し、「住んで良かった」と思える松原市にしていきたいですね。

最後に、会場に来ていただいた全員に「より良いまち松原」にするため、自身の目標を書いてもらいました。

皆さん、ありがとうございました。

【映像出演団体】
子どもの安全見守り活動隊、児童(恵我南小)、シルバードバイザー松原会、NPO法人やんちゃまファミリーwith、子育てサークルやんちゃファミリー、マザーズクラブ、障害当事者の会ドリーム

